

令和 7 年度 実施設計書

審査 設計者

工事番号
(設計書コード) 37-FE310-01-01-02

建設工事名 公園施設バリアフリー化第1工区工事

路線河川名 堀之内公園 建設工事箇所 藤枝市 堀之内一丁目 地内

建設工事金額

工 期 令和 8 年 2 月 2 7 日限り 週休2日推進工事補正 (月単位の週休2日(合計))

建設工事概要
便所設置 1 基
水飲み設置 1 基
園路整備 12.9 m

歩掛・単価適用年度 令和 7 年 6 月 基本単価 令和 7 年 6 月 地区コード 220 地区

起 終 点 指 定 ⇔

内訳表、施工単価表に記載されている機械の機種などは該当機種の使用を指定するものではなく設計上の参考である

位置図

S=1 : 5000



工事施行箇所
堀之内公園

公園施設バリアフリー化第1工区工事



工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費					
- 便所設置	基	1			コメント行
- 水飲み設置	基	1			コメント行
- 園路整備	m	12.9			コメント行
- 基盤整備	式	1			
-- 公園土工	式	1			
--- 残土処理工	式	1			
---- 建設発生土・運搬・処分（堀之内公園） 運搬距離 L=15.8km 処分先：駿遠開発事業（株） 切山残土処分場 牧之原市切山新菰沢594ほか47筆	m ³	10			M0353 第 1号表 数量コードZ10
- 施設整備	式	1			

工 事 費 内 訳 表					
区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
- - 給水設備工					
	式	1			
- - - 水栓類取付工					
	式	1			
- - - - 止水栓 給水用青銅製バルブ GV20 10k 3/4B					M0364
	箇所	1			第 2号表
- - - 作業土工					
	式	1			
- - - - 床掘り					
	m 3	1			SP 5号表 数量コードTK
- - - - 埋戻し(流用土)					
	m 3	1			SP 6号表 数量コードUK
- - - - 埋戻し(砂)					M0120
	m 3	1			第 3号表 数量コードUKS
- - - 給水管路工					
	式	1			
- - - - 給水管 HIVP φ20mm					M0080
	m	5			第 4号表 数量コードKL

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 埋設標識シート ポリエチレンクロス幅150mm ダブル	m	5			M0180 第 5号表 数量コードKL
-- 汚水排水設備工	式	1			
--- 作業土工	式	1			
---- 床掘り	m ³	2			SP 5号表 数量コードTO
---- 埋戻し(流用土)	m ³	1			SP 6号表 数量コードUO
---- 埋戻し(砂)	m ³	1			M0120 第 3号表 数量コードUS
--- 管渠工	式	1			
---- 汚水排水管 (VU100)	m	7			SP 8号表 数量コードHL
---- 埋設標識シート ポリエチレンクロス幅150mm ダブル	m	7			M0180 第 5号表 数量コードHL

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
--- 汚水枡・マンホール工	式	1			
---- 小口径枡設置 枡径φ150 塩ビ製蓋	箇所	1			
-- 電気設備工	式	1			
--- 照明設備工	式	1			
---- 接地 D種	箇所	1			M0060
--- 電線管路工	式	1			第 7号表
---- 便所用電源引込	式	1			M0310
-- 園路広場整備工	式	1			第 10号表
--- コンクリート系舗装工	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 園路整備					M0020
	m	13			第 15号表 数量コードENS
-- サービス施設整備工					
	式	1			
--- 作業土工					
	式	1			
---- 床掘り					
	m ³	1			SP 5号表 数量コードTMN
---- 埋戻し(流用土)					
	m ³	1			SP 6号表 数量コードUMN
--- 水飲み場工					
	式	1			
---- 水飲み 擬石製					M0360
	基	1			第 16号表
--- 園路縁石工					
	式	1			
---- 地先境界ブロック					
	m	6			SP 16号表 数量コードESS

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
--- 作業土工	式	1			
---- 掘削	m ³	4			SP 17号表 数量コードKC
-- 建築施設組立設置工	式	1			
--- 作業土工	式	1			
---- 床掘り	m ³	10			SP 5号表 数量コードTSB
---- 埋戻し	m ³	5			SP 6号表 数量コードUSB
--- 便所工	式	1			
---- 便所本体 TOR-10381-1 オストメイト 同等品以上	基	1			共通仮設費 対象外 見積
---- 便所 設置	基	1			M0130 第 17号表

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
- - 公園施設撤去・移設工	式	1			
- - - 舗装版撤去工	式	1			
- - - - 舗装版切断	m	2			SP 19号表 数量コードHS
- - - - 舗装版破碎	m ²	4			SP 20号表 数量コードHHA
- - - 公園施設撤去工	式	1			
- - - - 便所 撤去・運搬・処分	基	1			見積 第 20号表 数量コードBT M0359
- - - - 水飲み撤去 無筋コンクリート	m ³	0.21			第 21号表 M0363
- - - - 車止め撤去	m ³	0.02			第 23号表 数量コードKT
- - - - コンクリート(鉄筋) 殻・運搬・処分(堀之内公園) 運搬距離 L=6.9km 処分地:(株)キャラバン潮工場 藤枝市潮字泉堂395-3	m ³	0.4			第 24号表 数量コードYCO M0355

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
--- 樹木伐採・抜根工	式	1			
---- 支障木伐採・抜根 幹周30cmから60cm	本	1			M0358 第 25号表
---- 低木掘取工 中低木 樹高 50cm以上100cm未満 根巻なし	本	2			第 30号表
---- 木くず運搬・処分 運搬距離:L=6.9km 処分先:(株)キャラバン 潮工場 藤枝市潮字泉堂395-3	式	1			M0362 第 31号表
--- 縁石撤去工	式	1			
---- 縁石撤去(再利用)	m	6			SP 22号表 数量コードES
---- 縁石撤去(処分)	m	2			SP 23号表 数量コードES
---- コンクリート(無筋)殻・運搬・処分(堀之内公園) 運搬距離 L=5.8km 処分地:(株)紅林建材 藤枝市高洲83-5	m ³	0.3			M0354 第 33号表 数量コードMCO
-- 仮設工	式	1			

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
--- 交通管理工	式	1			
---- 交通誘導警備員	式	1			第 34号表
直接工事費計					
工種区分 No. 9 公園工事					
共通仮設費 (地域補正しない)	式	1			
共通仮設費計					
純工事費計					
現場管理費 (地域補正しない)	式	1			
工事原価計					

工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
一般管理費等 (金銭的保証を必要とする)	式	1			
アスベスト分析	式	1			M0356
工事価格計					第 35号表
消費税相当額	式	1			
請負工事費					

数量調整表			数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式	
園路整備（延長）	ENS （1 1）	$= 4.28 + 5.44 + 3.16$ $= 12.880$	

管長		
数量調整表		
数量調整表優先		
名 称	コード	計 算 式
給水管長	K L (0 2)	$= 3.7 + 1.6$ $= 5.300$ $-----$
排水管長	H L (0 2)	$= 1.0 + 0.7 + 5.1$ $= 6.800$

構造物撤去工			数 量 調 整 表		数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式			
便所撤去	B T (0 6)	= 1			
		= 1.000			
				
車止め撤去	K T (0 4)	= 0.02			
		= 0.020			
				
舗装版切断	H S (0 6)	= 2.0			
		= 2.000			
				
舗装版破碎（面積）	H H A (1 1)	= 3.6			
		= 3.600			
				
舗装版破碎（体積）	H H V (0 3)	= H H A * 0.1			
		= 3.6 * 0.1			
		= 0.360			
				
水飲み撤去（無筋Co）	M I T (0 3)	= 0.21			
		= 0.210			

園路縁石工			数 量 調 整 表		数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式			
縁石（再利用）	E S S （ 0 6 ）	=	6. 2		
		=	6. 2 0 0		
.....					
縁石撤去（処分）	E S （ 0 2 ）	=	2. 4		
		=	2. 4 0 0		

土工			数量調整表	数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式		
床掘（給水管）	TK (06)	$= 2.2 * KL / 10$ $= 2.2 * 5.3 / 10$ $= 1.170$		
埋戻（給水管）	UK (02)	$= 1.0 * KL / 10$ $= 1.0 * 5.3 / 10$ $= 0.530$		
埋戻砂（給水管）	UKS (02)	$= 1.2 * KL / 10$ $= 1.2 * 5.3 / 10$ $= 0.640$		
床掘（排水管）	TO (02)	$= 2.6 * HL / 10$ $= 2.6 * 6.8 / 10$ $= 1.770$		
埋戻（排水管）	UO (02)	$= 1.0 * HL / 10$ $= 1.0 * 6.8 / 10$ $= 0.680$		

土工			数 量 調 整 表		数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式			
埋戻砂（排水管）	U O S （ 0 2 ）	= 1.6 * HL / 10			
		= 1.6 * 6.8 / 10			
		= 1.090			

掘削（Co舗装）	K C （ 0 6 ）	= 30.6 / 100 * (ENS - 2.0) + HHA * 0.07			
		= 30.6 / 100 * (12.88 - 2.0) + 3.6 * 0.07			
		= 3.580			

床掘（水飲み）	T M N （ 0 6 ）	= 14.1 / 10			
		= 1.410			

埋戻（水飲み）	U M N （ 0 6 ）	= 10.7 / 10			
		= 1.070			

床掘（便所）	T S B （ 0 6 ）	= 11.2			
		= 11.200			

埋戻（便所）	U S B （ 0 6 ）	= 4.5			
		= 4.500			

土工		
数量調整表		
数量調整表優先		
名 称	コード	計 算 式
床掘・掘削（集計）	A L T （ 0 6 ）	<div><div>= TK + TMN + T0 + TSB + KC</div><div>= 1.17 + 1.41 + 1.77 + 11.2 + 3.58</div><div>= 19.130</div><div>.....</div></div>
埋戻（集計）	A L U （ 0 6 ）	<div><div>= UK + UMN + U0 + USB</div><div>= 0.53 + 1.07 + 0.68 + 4.5</div><div>= 6.780</div><div>.....</div></div>
砂埋戻（集計）	A L S （ 0 6 ）	<div><div>= UKS + U0S</div><div>= 0.64 + 1.09</div><div>= 1.730</div></div>

数量調整表			数量調整表優先
名 称	コード	計 算 式	
有筋Co	YCO (03)	$\begin{aligned} &= HHV + KT \\ &= 0.36 + 0.02 \\ &= 0.380 \end{aligned}$ <div>.....</div>	
無筋Co	MCO (03)	$\begin{aligned} &= 0.15 * 0.15 * ES + MIT \\ &= 0.15 * 0.15 * 2.4 + 0.21 \\ &= 0.260 \end{aligned}$	

残土 土 量 調 整 表			
発生土登録表 発生土 変化率	**（発生土→埋戻土→盛土）流用表** 発生土 - - - - 流用順位 - - - -	**残土処理場指定表** 発生土 処理順位	**残土処理容量指定**
ALT 19 0.90	ALT 1 番目 ALU 機械 19 → 7	ALT 1 番目 Z10 19 → 11	Z10 99,999
	盛土内訳指定表 盛 土 流用土 不足土 ALU R99 F99 7 = 7 + 0		**残土量合計** Z10 11

MO353					
建設発生土・運搬・処分(堀之内公園) 運搬距離 L=15.8km 処分先:駿遠開発事業(株) 切山残土処分場 牧之原市切山新菰沢594ほか47筆					
第 1号表					
金 円 10 m3 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
土砂等運搬		m3	10		SP 1号表
建設発生土処分費 処分先:駿遠開発事業(株) 切山残土処分場 牧之原市切山新菰沢594ほか47筆		m3	12		
計					
単価		m3			

MO364 止水栓 給水用青銅製バルブ GV20 10k 3/4B 第 2号表					
金 円 10 箇所 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工					1
	人				
普通作業員					1
	人				
給水用青銅バルブ (止水栓) GV20 10k					
	個	1.0			
バルブボックス (鑄鉄製弁柵蓋) B1					
	個	1.0			
硬質ポリ塩化ビニル管 一般管VP 径200 長4.0m					
	本	1.4			
コンクリート					
	m3	0.1			SP 2号表
型枠					
	m2	1.4			SP 3号表
基礎碎石					
	m2	2.2			SP 4号表

M O 3 6 4					
第 2号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
諸経費					
	%				
計					
単価					
	箇所				

MO120		埋戻し(砂)		第 3号表		
金 円		100 m3 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
埋戻し(砂)		m3	100			SP 7号表
砂		m3	126			
諸雑費		式	1			
計						
単価		m3				

M O O 8 0					
給水管 HIVP φ 20mm					
第 4号表					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
耐衝撃性硬質ビニル管 HIVP φ 20mm					1 2
	本	25			
HIVP割増率					2
	%				
配管工					
	人				
継手材料					
	%				
諸雑費					
	式	1			
計					
単価					
	m				

MO180					
埋設標識シート ポリエチレンクロス幅150mm ダブル					
第 5号表					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
埋設標識シート ポリエチレンクロス幅150mm ダブル	m	100			
管明示シート工	m	100			第 6号表
計					
単価	m				

管明示シート工					
第 6号表					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員	人				
諸雑費	式	1			
計					
単価	m				

M O O 6 O					
金 円 10 箇所 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
電工	人				
電線管敷設 VE管 16mm以下 露出配管 径16	m	11			M0260
管内配線 5mm以下 EM-IE 2.0mm×1 仕上がり外径:4.0mm	m	30			M0300
接地棒 φ14mm×L1500mm	組	10			
接地棒用リード端子 φ14mm用	本	10			
諸雑費	式	1			
計					
単価	箇所				

M O 2 6 0		電線管敷設 VE管 16mm以下 露出配管 径16		第 8号表		
金	円	100 m 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
電工		人				
硬質ビニル電線管 (VE) 径16A 長4.0m		本	25			
諸雑費		式	1			
計						
単価		m				

MO300					
管内配線 5mm以下 EM-IE 2.0mm×1 仕上がり外径：4.0mm					
第 9号表					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
電工	人				
低電圧ケーブル 5mm以下 EM-IE 2.0mm 仕上がり外径：4.0mm	m	100			
諸雑費	式	1			
計					
単価	m				

M0310 便所用電源引込						第 10号表
金 円 1 式 当り						
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
引込線支持金物 C型軽腕金：75×45×1200	本	1			見積	
電線管敷設 VE管 22mm以下 露出配管 径22	m	2			第 11号表	M0240
電線管敷設 VE管 36mm以下 露出配管 径28	m	1			第 12号表	M0352
合成樹脂製可とう電線管敷設 22mm以下 (径22)	m	0.8			第 13号表	M0250
ノーマルバンド VE28	個	1				
ターミナルキャップ VE22	個	1				
管内配線 20mm以下 VVF 2.0mm-2C 仕上外形 10.2mm	m	4.5			第 14号表	M0290
管内配線 5mm以下 EM-IE 2.0mm×1 仕上がり外径：4.0mm	m	1.5			第 9号表	M0300

M O 3 1 0					
第 10号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
引込分電盤					見積
	面	1			
諸雑費					
	式	1			
計					

MO240					
電線管敷設 VE管 22mm以下 露出配管 径22					
第 11号表					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
電工	人				
硬質ビニル電線管 (VE) 径22A 長4.0m	本	25			
諸雑費	式	1			
計					
単価	m				

MO352					
電線管敷設 VE管 36mm以下 露出配管 径28					
第 12号表					
金 円 100 m 当り					
積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
電工	人				
硬質ビニル電線管 (VE) 径28A 長4.0m	本	25			
諸雑費	式	1			
計					
単価	m				

M O 2 5 0		合成樹脂製可とう電線管敷設 22mm以下 (径22)		第 13号表		
金	円	100 m 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
電工		人				
合成樹脂製可とう電線管 径22mm		m	100			
諸雑費		式	1			
計						
単価		m				

MO290		管内配線 20mm以下 VVF 2.0mm-2C 仕上外形 10.2mm				第 14号表
金	円	100 m 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
電工		人				
低圧電力用ケーブル 20mm以下 VVF 2.0mm-2C 仕上がり外形:10.2mm		m	100			
諸雑費		式	1			
計						
単価		m				

MOO2O 園路整備 第 15号表					
金 円 100 m 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
下層路盤 (歩道部)	m2	180			SP 9号表
コンクリート	m3	12.6			SP 10号表
型枠	m2	14			SP 11号表
諸雑費	式	1			
計					
単価	m				

MO360					
水飲み 擬石製					
第 16号表					
金 円 10 基 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
水飲み EX-84090A同等品以上 擬石製 レバー式	基	10			
水飲み据付	基	10			SP 12号表
水飲み用集水樹 EX-84170同等品以上 擬石製 細目グレーチング (チェーン付)	基	10			見積
水飲み用集水樹据付	基	10			SP 12号表
コンクリート削孔 (コンクリート穿孔機)	孔	10			SP 13号表
均しコンクリート	m3	0.2			SP 14号表
均し型枠	m2	1			SP 15号表
基礎碎石	m2	7			SP 4号表

M O 3 6 0					
第 16号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
コンクリート舗装	m 3	0. 2			SP 10号表
型枠	m 2	1. 4			SP 11号表
諸雑費	式	1			
計					
単価	基				

M0130 便所 設置						第 17号表
金 円 1 基 当り						
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
運搬費						コメント行
運搬費		基	1			見積
組立据付費						コメント行
組立据付費		基	1			M0361 見積 第 18号表
基礎工事費						コメント行
基礎碎石		m2	9.9			SP 4号表
基礎コンクリート (21-18-25N)		m3	1.5			SP 18号表
型枠		m2	2.2			SP 11号表

MO130					
第 17号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
寝巻コンクリート (21-18-25N)	m3	1.4			SP 18号表
型枠	m2	7.7			SP 11号表
鉄筋 異形棒鋼 D13mm規格品SD295 一般構造物, 一般構造物 (補正無)	t	0.17			市場単価を適用 (材料を含む), 10t未満 第 19号表
計					

MO361

組立据付費

第 18号表

金 円		1 基 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		人				
ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排対型（3次基準）〕 25t吊		時、日				3 換算損料（損料表13欄）
諸雑費		式				3
計						

鉄筋 異形棒鋼 D13mm規格品SD295 一般構造物、一般構造物（補正無） 金 円 1 t 当り 市場単価を適用（材料を含む）、10t未満					
第 19号表					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
異形棒鋼 SD295A D13	t	1.03			
鉄筋工（鉄筋加工・組立） 一般構造物	t	1			1 市場単価（基準額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
〔加算率：S1〕 施工規模	%				
補正後市場単価	t	1			
諸雑費	式	1			
計（合計金額対象外は除く）					

MO359 便所 撤去・運搬・処分						第 20号表
金	円	1 基 当り	見積			
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
便所撤去費 養生費用を含む		式	1			
撤去殻運搬費		式	1			
撤去殻処分費		式	1			
計						

MO363					
水飲み撤去 無筋コンクリート					
第 21号表					
金 円 10 m3 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
構造物とりこわし		m3	10		
計					
単価		m3			

構造物とりこわし					
第 22号表					
金 円 1 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
構造物とりこわし工（無筋構造物） 屋間単価 制約無 機械 機労	m3	1			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
〔補正係数：K1〕 低騒音・低振動対策の場合	X				
補正後標準単価	m3	1			
諸雑費	式	1			
計（合計金額対象外は除く）					

構造物とりこわし					
第 23号表					
金 円 1 m3 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
構造物とりこわし工（鉄筋構造物） 昼間単価 制約無 機械 機労	m3	1			1 標準単価（基本額）〔合計金額対象外〕
〔補正係数：週休2日補正〕	X				
〔補正係数：K1〕 低騒音・低振動対策の場合	X				
補正後標準単価	m3	1			
諸雑費	式	1			
計（合計金額対象外は除く）					

MO355					
コンクリート（鉄筋）殻・運搬・処分（堀之内公園）					
運搬距離 L=6.9km					
第 24号表					
処分地：（株）キャラバン潮工場 藤枝市潮字泉堂395-3					
金 円 10 m3 当り					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
殻運搬		m3	10		SP 21号表
コンクリート（鉄筋）殻処分 処分地：（株）キャラバン 潮工場 藤枝市潮字泉堂395-3		m3	10		
計					
単価		m3			

M O 3 5 8					
高木伐採・抜根 幹周30cmから60cm					
第 25号表					
金 円 1 本 当 り					
積 算 項 目		単 位	数 量	単 価	金 額
支障木伐採 幹周30cmから60cm		本	1		
支障木抜根 幹周30cmから60cm		本	1		
計					

MO357					
支障木伐採 幹周30cmから60cm					
第 26号表					
金 円 100 本 当り					
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
造園工	人				
普通作業員	人				
トラック2t積運転	台・日	1.3			M0350
諸雑費	式	1			第 27号表
計					
単価	本				

MO350		トラック2t積運転		第 27号表	
金	円	1 台・日 当り			
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
運転手 (一般)		人			
軽油 パトロール給油		L	25		
トラック [普通型] 2 t 積		時、日			換算損料 (損料表13欄)
諸雑費		式	1		
計					

M0348		支障木抜根 幹周30cmから60cm		第 28号表		
金	円	100 本 当り				
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		人				
チェーンソー運転		日				M0349 第 29号表
トラック2t積運転		台・日	4.5			M0350 第 27号表
諸雑費		式	1			
計						
単価		本				

MO349 チェンソー運転					
金 円 1 日 当 り					
積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員					1
	人				
ガソリン JIS2号 レギュラースタンド					1
	L	2.7			
チェンソー損料 1日当たり 鋸長500mm 排気量60cc					1
	日				
諸雑費					
	%				
計					

<div>掘取工</div> <div>中低木 樹高 50cm以上100cm未満 根巻なし</div> <div>第 30号表</div>					
金	円	100 本 当り			
積 算 項 目	単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役					1
	人				
造園工					1
	人				
普通作業員					1
	人				
諸 雑 費					
	%				
計					
単価					
	本				

MO362		木くず運搬・処分 運搬距離：L=6.9km 処分先：(株)キャラバン 潮工場 藤枝市潮字泉堂395-3				第 31号表
金	円	1 式 当り				
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
トラック運搬 (D I D区間なし) 運搬距離：7. 5 km以下		台	1			第 32号表
木くず処分 処分先：(株)キャラバン 潮工場 藤枝市潮字泉堂395-3		t	0. 5			
計						

トラック運搬 (DID区間なし)
運搬距離: 7.5 km以下

第 32号表

金 円 1 台 当 り					
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額
トラック運搬 2 t 積		時間			
諸 雑 費		式	1		
計					

MO354					
金 円 10 m3 当り					
コンクリート（無筋）殻・運搬・処分（堀之内公園） 運搬距離 L=5.8km 処分地：（株）紅林建材 藤枝市高洲83-5					
第 33号表					
積 算 項 目		単位	数量	単 価	金 額
殻運搬		m3	10		
コンクリート（無筋）殻処分 処分地：（株）紅林建材 藤枝市高洲83-5		m3	10		
計					
単価		m3			

交通誘導警備員

第 34号表

金 円 1 式 当り					
積 算 項 目		単位	数 量	単 価	金 額
交通誘導警備員B					
		人	2		2日、1人
計					

MO356

アスベスト分析

第 35号表

金 円 1 式 当り

積 算 項 目	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
アスベスト分析 (定性) 外壁リシン材・内壁及び天井・個室内壁・屋根上構造物・タイル下地	検体	5			
計					

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
土砂等運搬	土砂等発生現場＝小規模，積込機種・規格＝バックホウ山積 0. 2 8 m 3 （平積 0. 2 m 3 ），土質＝土砂（岩塊・玉石混り土含む），D I D 区間の有無＝有り，運搬距離＝1 7. 0 k m 以下	SP 1 号表
コンクリート	構造物種別＝小型構造物，打設工法＝人力打設，コンクリート規格＝コンクリート規格 選択，養生工の種類＝一般養生，現場内小運搬の有無＝無し &コンクリート規格＝1 8 - 8 - 2 5 （2 0）- B B W / C 6 0 % 以下	SP 2 号表
型枠	型枠の種類＝一般型枠，構造物の種類＝小型構造物	SP 3 号表
基礎碎石	碎石の厚さ＝7. 5 c m を超え 1 2. 5 c m 以下，碎石＝碎石の種類 選択 &碎石規格＝再生クラシャーラン（R C - 4 0）	SP 4 号表
床掘り	土質＝土砂，施工方法＝上記以外（小規模） ＊土砂の種類＝土砂（レキ質土）	SP 5 号表
埋戻し	施工方法＝上記以外（小規模），土質＝土砂 ＊土砂の種類＝土砂（レキ質土）	SP 6 号表
埋戻し	施工方法＝上記以外（小規模），土質＝土砂 ＊土砂の種類＝土砂（砂・砂質土）	SP 7 号表
暗渠排水管	作業区分＝据付，管種別＝直管，呼び径＝5 0 - 1 5 0 m m ＊暗渠排水管	SP 8 号表
下層路盤（歩道部）	施工区分＝1 層施工，材料＝路盤材 選択 ＊全仕上り厚＝1 0 0 m m，&路盤材規格＝再生下層路盤材 4 0 - 0	SP 9 号表

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
コンクリート	構造物種別＝無筋・鉄筋構造物，打設工法＝人力打設，コンクリート規格＝コンクリート規格 選択，養生工の種類＝一般養生， 現場内小運搬の有無＝無し &コンクリート規格＝18-8-25（20）-BB W/C 60%以下	SP 10号表
型枠	型枠の種類＝一般型枠，構造物の種類＝鉄筋・無筋構造物	SP 11号表
プレキャスト集水桝	作業区分＝据付，製品質量（kg／基）＝200kgを超え400kg以下，基礎碎石の有無＝無し	SP 12号表
コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）	削孔径＝110mm以上128mm未満，削孔深さ＝50mm以上200mm未満	SP 13号表
コンクリート	構造物種別＝無筋・鉄筋構造物，打設工法＝人力打設，コンクリート規格＝コンクリート規格 選択，養生工の種類＝一般養生， 現場内小運搬の有無＝無し &コンクリート規格＝18-8-25（20）-BB	SP 14号表
型枠	型枠の種類＝一般型枠，構造物の種類＝均しコンクリート	SP 15号表
地先境界ブロック	作業区分＝再利用設置，ブロック規格＝C種 L＝600，基礎碎石の有無＝有り，均し基礎コンクリート規格＝無し &基礎碎石（標準値＝1）＝再生クラッシャーラン RC-40	SP 16号表
掘削	土質＝土砂，施工方法＝上記以外（小規模），施工数量＝標準 ＊土砂の種類＝土砂（レキ質土）	SP 17号表
コンクリート	構造物種別＝無筋・鉄筋構造物，打設工法＝人力打設，コンクリート規格＝コンクリート規格 選択，養生工の種類＝一般養生， 現場内小運搬の有無＝無し &コンクリート（各種）	SP 18号表

施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
舗装版切断	舗装版種別＝コンクリート舗装版，コンクリート舗装版厚＝１５ｃｍ以下	SP 19号表
舗装版破砕	舗装版種別＝コンクリート舗装版，障害等の有無＝無し，騒音振動対策＝必要（圧砕機使用），舗装版厚＝１５ｃｍ以下，積込作業の有無＝有り	SP 20号表
殻運搬	殻発生作業＝コンクリート（鉄筋）構造物とりこわし，積込工法区分＝機械積込，D I D区間の有無＝無し，運搬距離（ｋｍ）＝８．０ｋｍ以下	SP 21号表
地先境界ブロック撤去	再利用区分＝再利用を目的とした撤去	SP 22号表
地先境界ブロック撤去	再利用区分＝処分を目的とした撤去	SP 23号表
殻運搬	殻発生作業＝コンクリート（無筋）構造物とりこわし，積込工法区分＝機械積込，D I D区間の有無＝有り，運搬距離（ｋｍ）＝８．０ｋｍ以下	SP 24号表

個人情報取扱特記仕様書

1 基本的事項

受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務の実施に当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報を適切に取り扱わなければならない。

2 秘密の保持

受注者は、この契約による事務に関して知ることができた個人情報をみだりに他人に知らせてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

3 収集の制限

- (1) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、事務の目的を明確にするとともに、事務の目的を達成するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。
- (2) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、本人から収集し、本人以外から収集するときは、本人の同意を得た上で収集しなければならない。

4 利用及び提供の制限

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報を契約の目的以外の目的のために利用し、又は第三者に提供してはならない。

5 適正管理

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の漏えい、滅失及びき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

6 複写又は複製の禁止

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡された個人情報が記録された資料等を、複写し、又は複製してはならない。

7 再委託の禁止

受注者は、この契約による事務を行うための個人情報の処理は、自ら行うものとし、発注者が承諾した場合を除き、第三者にその処理を委託してはならない。

8 資料等の返済等

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡され、又は受注者自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、事務完了後直ちに発注者に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、発注者が別に指示したときは、その指示に従うものとする。

9 従事者への周知

受注者は、この契約による事務に従事している者に対して、在職中及び退職後において、その事務に関して知り得た個人情報を他に漏らしてはならないこと及び契約の目的以外の目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関し必要な事項を周知するものとする。

10 実地調査

発注者は、必要があると認めるときは、受注者がこの契約による事務の執行に当たり取扱っている個人情報の状況について、随時実地に調査することができる。

11 事故報告

受注者は、この契約に違反する事態が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。

障害者差別解消法等に基づく差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供についての留意事項に関する特記事項

(受注者の責務)

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律第10条第1項の規定に基づく「藤枝市における障害を理由とする差別を解消するための職員対応要領」(平成28年3月11日藤枝市長決定)第2条に規定する不当な差別的取扱いの禁止及び第3条に規定する合理的配慮の提供について留意すること。

交通誘導員の配置に関する特記仕様書（標準）

（交通誘導員の設計計上数量）

第1条 本工事の施工に際しては、設計書に計上した交通誘導員の人員を配置する。なお、配置場所等については、監督員と協議するものとする。

（安全対策）

第2条 受注者は、工事の施工に当たって交通整理等を行うときは、公共工事の円滑な執行に資することを理解し、事故のないよう適正に工事を実施しなければならない。

2 受注者は、工事の施工にあたって、交通整理等を行うときは、配置人員、配置位置及び配置期間等について、監督員と協議を行わなければならない。また、計画に変更が生じた場合も同様とする。

3 受注者は、工事の施工にあたって交通整理等を行った場合、工事完了時に実施内容の判る写真、交通誘導員勤務実績表を併せて提出しなければならない。

（その他）

第3条 交通誘導員は、原則、警備業法（昭和47年法律第117号一部改正平成16年法律第50号）第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置するものとする。

2 現場代理人は、交通誘導員について、住民等から意見があった場合は、速やかに監督員へ報告し、協議を行うものとする。

3 現場代理人は、交通誘導員の点呼を取り、交通誘導員の健康状態や交通整理状況を常時把握し、異常のあるときは速やかに警備会社へ連絡し、交替を要請するとともに、交替要員が現場に到着するまでの間、交通誘導を要する現場作業は控えるものとする。

4 現場代理人は、施工区域内において、複数の他工事が重複する場合は、事故の未然防止及び安全対策に万全を期するとともに、他工事との調整等を図るなかで、交通誘導員を適正に配置するものとする。

工事写真の電子データに関する特記仕様書

第1条（工事写真の提出）

当該工事（以下「本工事」という。）の工事写真を電子データの対象とするか否か、受注時に発注者、受注者協議の上、選択できるものとする。対象とした場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（工事写真）

工事写真は「写真管理基準」により撮影したものを指す。

第3条（電子データの作成）

電子データは、国土交通省版の「デジタル写真管理情報基準」に基づいて作成するものとする。

第4条（提出方法）

納品は要領に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R）で2部提出する。

なお、納品の際には事前にエラーチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで納品するものとする。

第5条（定めなき事項）

本仕様書および共通仕様書に定めのない事項や疑義が生じた場合は、必要に応じ監督員と協議するものとする。

藤枝市週休２日工事（土木工事）特記仕様書

（目的）

第１条 本特記仕様書は、公共工事の品質確保並びにその担い手の中長期的な育成及び確保が重要な課題となっていることに鑑み、建設現場における休日確保型工事の実施に伴い必要となる経費を適切に計上することにより、週休２日の取得が可能な環境づくりを推進し、その労働環境の改善を目的とする。

（用語の定義）

第２条 この要領において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 対象期間 工事着手日（準備期間を除く。）から工事完成日（後片付け期間を除く。）までの期間のことをいう。ただし、年末年始休暇（６日間）、夏季休暇（３日間）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている期間は含まない。
- (2) 休工日 対象期間において、現場事務所での事務作業を含め１日を通して現場や現場事務所が閉所された日（巡回パトロール・保守点検等、現場管理上必要な作業のみを行う場合は休工日に含む。）をいう。
- (3) 現場閉所率 対象期間における休工日の割合（休工日数／対象期間日数）を百分率で表示したものをいう。
- (4) 月単位の週休２日 対象期間の全ての月において、週休２日の状態をいう。
ただし、土曜日、日曜日の日数の割合が２８．５％に満たない月においては、当該月の土曜日、日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている状態をいう。
- (5) 通期の週休２日 対象期間の現場閉所率が２８．５％以上の状態をいう。

（費用の計上）

第３条 週休２日工事の費用計上は、対象期間中の現場の閉所状況に応じ、静岡県が定める「週休２日推進工事積算要領」の規定に準じ、補正係数を乗じて行うものとする。

（実施方法）

第４条 週休２日工事の実施方法は、次のとおりとする。

- (1) 受注者は、現場着手日までに４週８休以上の休工日取得計画表を監督員に提出しこれに基づき施工を行う。
- (2) 受注者は、計画に変更が生じた場合には、その都度、変更した休工日取得計画表を監督員に提出する。
- (3) 監督員は、受注者に工事記録簿等の資料の提出を求め、休工日及び現場閉所率について確認を行う。なお、４週８休以上の休工日が確保できなかった場合には、静岡県週休２日推進工事（土木工事）実施要領の規定に準じ、現場閉所率に応じた費用計上

による減額変更契約を行うものとする。

(工期設定の条件)

第5条 設定された工期に見込まれている特記事項は、次のとおりとする。

- (1) 雨休率 休日と降雨降雪及び猛暑日数の年間の発生率をいう。この場合において、休日は、日曜日及び土曜日、祝日、年末年始休暇（6日）並びに夏季休暇（3日）とし、降雨降雪及び猛暑日数は地域ごとに算出が困難なため、「0.9」とする。

ただし、猛暑期間（6月～9月）外の工事については、猛暑日を考慮しない雨休率「0.8」とする。

- (2) 工事の性格 () 日
(3) 地域の事情 () 日
(4) 自然条件 () 日
(5) その他 () 日

遠隔臨場の試行に関する特記仕様書

本工事（業務）は、遠隔臨場の試行の対象であり、受発注者間の調整により、遠隔臨場を実施することができる。

（定義）

第1条 遠隔臨場とは、建設現場において、モバイル端末等による映像と音声の双方向通信を用いた立会・段階確認及び検査のことをいう。

（適用）

第2条 遠隔臨場は、受注者がモバイル端末等で撮影した映像と音声を監督員又は検査員等にリアルタイム配信を行い、双方向通信により相互に確認を行うことにより、必要とする情報の入手が可能と監督員又は検査員が判断した場合に限り、臨場又は実地に替えることができるものとする。

（実施方法）

第3条 受注者は、遠隔臨場を行う場合、以下の作業を実施する。

（1）事前調整

受注者は、監督員と遠隔臨場の実施日時、適用（確認する項目・内容）、仕様（使用する機器・アプリケーションまたはサービス）、その他必要な事項について調整する。なお、電話、メール等での調整を可とする。

（2）実施記録

受注者は、遠隔臨場が行われた証拠として、通信履歴の画面キャプチャ（写真）、通話中の監督員又は検査員の映像を含む写真等のいずれかの記録を行うものとする。

遠隔臨場が行われた内容の記録は、監督員又は検査員の臨場又は実地に替えて黒板に遠隔臨場であることを明記した写真により行うものとする。

（実施手続）

第4条 遠隔臨場は、以下の手順により実施する。

（1）事前調整

受注者は、遠隔臨場の実施について、監督員と事前調整する。

（2）立会・段階確認、検査の申請

受注者は、遠隔臨場を実施する場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認項目欄又は検査依頼書の検査の種類欄に遠隔臨場であることを明記する。実施日時等の取扱いは、臨場の場合と同様とする。

ただし、監督員又は検査員が臨場の必要があると判断した場合は、遠隔臨場による申請を行った場合においても、臨場により実施するものとする。

（3）立会・段階確認、検査の実施

受注者は、実施予定日時に、監督員又は検査員に対して通信を開始して実施する。

ただし、監督員又は検査員が必要とする情報が得られないと判断した場合は、遠隔臨場を中止し、通常の臨場による確認を実施するものとする。

（4）立会・段階確認、検査の確認

受注者は、遠隔臨場による立会・段階確認を実施した場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認書に、実施記録を添付し監督員に提出するものとし、遠隔臨場による検査を実施した場合は、検査終了後速やかに実施記録を監督員経由で検査員に提出するものとする。

(機材等の手配・仕様)

第5条 受注者は、以下の項目により遠隔臨場に必要な機器等を準備するものとする。

- (1) 受注者は、現場で必要となるモバイル端末及び通信回線等の準備を行う。
- (2) 発注者は、発注者が保有するインターネット通信が可能なタブレット端末等を利用する。
- (3) 利用するアプリケーションまたはサービスは、発注者が保有するタブレット端末等で利用が可能であり、かつ、発注者の利用に際して新たな費用負担が生じないものを受注者が選定する。

(費用)

第6条 受注者が行う機材等の手配に要する経費は、共通仮設費（業務の場合は諸経費）の率分に含まれるものとし、別途計上しない。

(調査への協力)

第7条 受注者は、遠隔臨場を実施した場合、有効性や効果、課題等について把握するためのアンケート調査等に協力する。

情報共有システム（ASP）の活用に関する特記仕様書

第1条（情報共有システムの活用）

本工事は、発注者及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システム(ASP)の対象工事である。実施にあたっては「藤枝市における情報共有システム活用要領」及び「藤枝市における情報共有システム活用の手引き」に基づき実施する。受注者は、情報共有システムの利用の有無を発注者と協議し決定する。利用する場合に必要な事項を以下のとおり定める。

第2条（システムの選定）

受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、発注者と協議し承諾を得なければならない。利用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。

- ・「土木工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 （最新版）

（国土交通省）

- ・「建築・建築設備工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 営繕工事編 （最新版）

（国土交通省大臣官房官庁営繕部 整備課施設評価室）

第3条（利用契約）

発注者及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーID数やワークフロー機能の対象者等については、「事前協議チェックシート」に基づき、担当監督員と協議するものとする。

第4条（費用負担）

情報共有システムを利用する発注者及び受注者の費用は、情報共有システムへの登録料及び使用料であり、設計図書における経費のうち、共通仮設費の率分（技術管理費）に含まれるものとし、受注者の負担とする。

地下埋設物調査

(公園施設バリアフリー化第1工区工事)

埋設物	埋設状況			管理者		位置図
	縦方向	横方向	特殊箇所	市	管理側	
水道管	管理図により無いことを確認した。			富山		
ガス管	管理図により無いことを確認した。			富山		
大井川広域水道企業団	管理図により無いことを確認した。			富山		
大井川土地改良区	管理図により無いことを確認した。			富山		
N T T ケーブル	管理図により無いことを確認した。			富山		
中部電力ケーブル	管理図により無いことを確認した。			富山		
下水道管	管理図により無いことを確認した。			富山		